

(案)

説 明 書

1. 業務名

平成 30 年度訪日外国人旅行者周遊促進事業
「訪日外国人認知度及び周遊動向等実態調査事業」

2. 実施時期

契約締結の日～平成 31 年 3 月 8 日

3. 業務の目的

現在、国では訪日外国人旅行者数 2020 年 4000 万人、訪日外国人旅行消費額 2020 年 8 兆円等の新たな目標を掲げ、戦略的に取り組んでいるところであり、テーマ性・ストーリー性を持った魅力ある観光地域のネットワークを強化し、訪日外国人旅行者の滞在日数にあわせた広域観光周遊ルートの形成により、訪日外国人旅行者の周遊を促進し、もって地域の活性化を図ることとしている。

本事業では、ターゲット市場国・地域における山陰の認知度や、山陰を訪れている訪日外国人の周遊動線、行動、消費、訪問動機等を調査し、実態を把握することにより、山陰地域における誘客戦略・事業計画の策定につなげる。

4. 業務の内容

山陰地域における訪日外国人認知度及び周遊動向等調査

■空港、観光案内所、宿泊施設等での訪日外国人実態調査

観光案内所等の主要アクセスポイントでのヒアリング調査等を実施することで、山陰エリアを訪れている外国人の実態を継続的に把握する。

(1) 調査場所

「縁の道～山陰～」エリア（12 拠点及びゲートウェイを意識すること）

(2) 調査対象

山陰へ宿泊する訪日外国人（主要言語：英語、フランス語、中国語、韓国語、タイ語）

(3) 実施期間

平成 30 年 7 月～平成 31 年 2 月

■縁の道～山陰～認知度調査

インターネット調査等により、各対象国・地域における山陰の認知度を把握し、機構が取り組む事業等の効果を図る指標とする。

(1) 主な対象国・地域

韓国、台湾、香港、中国、アメリカ、タイ、フランス、ロシア、シンガポール

(2) 主な対象者

16～59 歳 海外旅行経験者

■山陰を訪れている訪日外国人の周遊動態分析

「各種予約データなどの観光産業に係る各種サービス等」、「各種統計データなどの政府・自治体・公共サービス等」、「GPS データなどの観光行動を伴う個人向けサービス等」の山

(案)

陰を訪れている訪日外国人の行動実態の分析に有用な既存のビッグデータ等と共に本事業にて調査したデータを分析し、誘客戦略構築につなげ、訪日外国人の周遊促進や消費拡大等への有効性を検証する。

事業の目標設定、事業の効果・実績の把握、分析等業務

当事業について、下記の項目を含む適切な目標を設定し、事業の効果・実績の把握・分析を行い、後記の事業実施報告書により取りまとめること。また、調査結果報告会で報告する旨、当機構から要請があった場合に報告すること。

- (1) 訪日外国人実態調査サンプル数
- (2) 山陰認知度調査サンプル数
- (3) 分析対象訪日外国人 GPS データ数

5. 成果物の提出等

- (1) 成果物
事業実施報告書 (A4 版) 5 部 (紙媒体)
- (2) 成果物に係るデータ
当該成果物を PDF 化したデータ及び EXCEL データ
- (3) 提出場所
一般社団法人山陰インバウンド機構
- (4) 提出期限
平成 31 年 3 月 8 日 (金)
なお、作成にあたっては、以下について留意のこと。
 - ① 事前に監督職員の承認を受けること。
 - ② 事業実施状況等をわかり易く編集すること。
 - ③ 事業実施による効果を調査し、取りまとめること。

6. その他

- (1) 一般社団法人山陰インバウンド機構と十分協議しながら事業を進めること。
- (2) 事業の実施にあたっては、「縁の道～山陰～」のロゴマーク等を使用する等、国及び当機構の進める事業に趣旨に沿って行うよう配慮すること。